

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
 【**単独**・連携事業】

市町名	高根沢町
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	交通安全意識向上事業	総事業費	506,826	501,357	500,000	500,000	500,000	2,508,183
		うち市町支出額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	2,500,000
		うち県交付金	150,000	150,000	0	0	0	300,000
2	地域防犯体制強化事業	総事業費	503,238	500,006	500,000	500,000	500,000	2,503,244
		うち市町支出額	500,000	499,396	500,000	500,000	500,000	2,499,396
		うち県交付金	150,000	150,000	0	0	0	300,000
3	女性も活躍火災予防事業	総事業費	100,337	100,182	100,000	100,000	100,000	500,519
		うち市町支出額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000
		うち県交付金	45,000	45,000	0	0	0	90,000
4	たかねざわ元気川柳事業	総事業費	373,375	461,866	350,000	350,000	350,000	1,885,241
		うち市町支出額	373,375	461,866	350,000	350,000	350,000	1,885,241
		うち県交付金	160,000	160,000	160,000	0	0	480,000
5	JR烏山線開業100周年記念事業	総事業費			650,000	650,000	650,000	1,950,000
		うち市町支出額			650,000	650,000	650,000	1,950,000
		うち県交付金			325,000	325,000	325,000	975,000
6	東京2020競技大会ホストタウン推進事業(旧東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業)	総事業費	3,450,991	1,500,002	400,000	2,200,000	2,200,000	9,750,993
		うち市町支出額	3,450,991	1,500,000	400,000	2,200,000	2,200,000	9,750,991
		うち県交付金	1,399,070	750,000	200,000	0	0	2,349,070
7	高根沢町文化祭開催事業	総事業費			700,000	700,000	700,000	2,100,000
		うち市町支出額			700,000	700,000	700,000	2,100,000
		うち県交付金			350,000	350,000	350,000	1,050,000
8	高根沢町元気あっぷハーフマラソン大会兼長距離走大会	総事業費			14,800,000	14,500,000	14,500,000	43,800,000
		うち市町支出額			4,500,000	4,500,000	4,500,000	13,500,000
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	4,934,767	3,063,413	18,000,000	19,500,000	19,500,000	64,998,180
		うち市町支出額	4,924,366	3,061,262	7,700,000	9,500,000	9,500,000	34,685,628
		うち県交付金	1,904,070	1,255,000	2,035,000	1,675,000	1,675,000	8,544,070

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	たかねざわ元気川柳事業
事業主体の名称	高根沢町観光協会
代表者の名称	会長 東原 正記
事業主体の所在	〒329-1292 高根沢町大字石末2053番地
事業主体の概要	・団体の目的:本町の観光事業の発展と、これに関する産業経済の振興を図ること。 ・設立年月日:昭和54年7月9日 ・構成員等:高根沢町、高根沢町商工会及び塩野谷農業協同組合と、高根沢町に事業者または住所を有する者(会員数54)
当該事業に係る地域の現状と課題	【現状】本町には皇室の台所「宮内庁御料牧場」があり、これに象徴されるように、お米などのおいしくて安心安全な農作物がたくさん生産されている。皇位継承に伴う重要祭祀「大嘗祭」において使用された町産米の「とちぎの星」を活用したプロモーション事業を実施している。 【課題】観光資源として2020年4月にリニューアルオープンした「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」や「水との出会い」をテーマにした「鬼怒グリーンパーク」などがあるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光産業全体が苦しい状況である。
事業目的	上記の現状と課題を踏まえ、 ・町の認知度向上による町おこしや世相をユーモアに映し出す話題作りを行う。 ・コロナウイルスに関する規制緩和がされてもなお、当町の観光需要の低迷は続いているため、川柳の受賞者への賞品を高根沢町の特産品にすることで町のPRに繋がり、結果的に町の活性化に寄与する。
事業概要	元気川柳事業の対象者は年齢、居住地を問わない。自身で考案した未発表の川柳を募集、応募のあった川柳から審査員が受賞者を選び、受賞者には町の特産品を商品として贈呈する。受賞した川柳は、町のホームページに掲載する。 【令和5年度】 ●川柳事業・観光PR事業(認知度向上・観光促進) 当事業を通して、町外の方が川柳を応募するにあたり、高根沢町はどのような町か、名所や特産品は何かなど「高根沢町」を知る機会を提供することで、「高根沢町に行ってみよう」、「高根沢町をもっと知りたい」と興味・関心をもってもらう。 ●広報・HPを通じた観光PR事業(地域活性化) ・町や観光協会のHPや広報、チラシを通して町のPRや事業の宣伝活動を実施する。 ・未だに新型コロナウイルス感染症拡大の影響で低迷している観光産業を回復するべく、当事業を通じて応募者や事業を知った方が「町の特産品を購入したい、食べたい」と購買意欲を掻き立てるよう商品の見せ方や商品の選び方を工夫する。 ・周知方法はポスターの掲示、広報誌への掲載、観光協会HPの強化等に力を入れる。 ●歴史的資源の活用 ・ローカル線が持つ訴求力を活用し、観光客の獲得に繋げていく。JR烏山線が令和5年4月に100周年を迎えたので記念事業として位置づけ、関連した賞(特別賞等)を設定し、知ってもらえる機会の創出を図る。 【令和6年度以降】 町外者からの応募が多数あり、興味・関心を多くの方に持たれているということから引き続き町のPR事業の一環として当該事業を実施してwithコロナ・afterコロナを見据えた事業内容を検討していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】基本目標2「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。 【KPI】20代～40代の人口11,790人(2019年4月1日時点)より増加

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①元気川柳事業 ②観光PR事業 ③広報・HPを通じた観光PR活動	①元気川柳事業 ②観光PR事業 ③広報・HPを通じた観光PR活動	①元気川柳事業 ②観光PR事業 ③広報・HPを通じた観光PR活動		・川柳事業 ・観光PR事業 ・広報・HPを通じた観光PR活動
事業費	373,375	461,866	350,000	1,185,241	350,000
市町支出金(ソフト事業分)	373,375	461,866	350,000	1,185,241	350,000
うち県交付金	160,000	160,000	160,000	480,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	田代 真也
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiej@town.takanezawa.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	たかねざわ元気川柳事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	350,000	内 栃木県わがまちつながり構築事業交付金分は160,000円
計	350,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	287,000	287,000	128,500	0	川柳賞品(内、審査員報償費30,000円は当該交付金事業補助対象外経費)
消耗品費	3,000	3,000	1,500	0	事務用品等
印刷製本費	37,000	37,000	18,500	0	チラシ印刷代
通信運搬費	23,000	23,000	11,500	0	郵送料等
				0	
				0	
				0	
				0	
計	350,000	350,000	160,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	JR烏山線開業100周年記念事業
事業主体の名称	高根沢町観光協会
代表者の名称	会長 東原 正記
事業主体の所在	〒329-1292 高根沢町大字石末2053番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:本町の観光事業の発展と、これに関する産業経済の振興を図ること。</p> <p>・設立年月日:昭和54年7月9日</p> <p>・構成員等:高根沢町、高根沢町商工会及び塩野谷農業協同組合と、高根沢町に事業者または住所を有する者(会員数54)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【現状】高根沢町と那須烏山市を結ぶJR烏山線は、地域住民の通勤通学のための重要な交通手段であり、「からせん」の愛称で地域の人々に親しまれてきた。</p> <p>【課題】烏山線は近年利用者数が減少の一途をたどっており、令和4年度にJR東日本が公表した利用者の少ない地方路線の収支状況において、烏山線が県内で唯一の赤字路線として発表された。</p>
事業目的	<p>上記の現状と課題を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・烏山線の開業100周年をきっかけに、烏山線への愛着を醸成するとともに、烏山線が開業100周年を迎えたことをノベルティ頒布を通じて知ってもらい、利用客の増加を図る。 ・ローカル線が持つ訴求力を活用し、観光客の増加による地域活性化を図るとともに、地域住民のシビックプライドを醸成する。
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ノベルティ制作・頒布(認知度向上・利用促進) <p>烏山線開業100周年を記念したノベルティを制作し、町内の地域づくり団体のイベントにて頒布することにより、JR烏山線の認知度向上及び利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広報・HPを通じた観光PR事業(地域活性化) <p>・町や観光協会のHPや広報、チラシを通して町のPRや事業の宣伝活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歴史的資源の活用 <p>・ローカル線が持つ訴求力を活用し、観光客の獲得に繋げていく。</p> <p>【令和6年度以降】</p> <p>引き続きHPやイベント等を通じた烏山線PR事業を実施し、利用者増・地域活性化につながる事業展開を検討していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】基本目標2「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。</p> <p>【KPI】道の駅たかねざわ元気あつむらの年間施設利用者数 450,000人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①JR烏山線開業100周年記念ノベルティ作成	①JR烏山線PR事業	①JR烏山線PR事業		①JR烏山線PR事業
事業費	650,000	650,000	650,000	1,950,000	650,000
市町支出金 (ソフト事業分)	650,000	650,000	650,000	1,950,000	650,000
うち県交付金	325,000	325,000	325,000	975,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	田代 真也
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	JR烏山線開業100周年記念事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	650,000	内 栃木県わがまちつながり構築事業交付金分は325,000円
計	650,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託費	650,000	650,000	325,000	0	ノベルティ制作料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	650,000	650,000	325,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	東京2020競技大会ホストタウン推進事業(旧 東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業)
事業主体の名称	高根沢町東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業実行委員会 (旧 高根沢町東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業実行委員会)
代表者の名称	会長 坂本 美知夫
事業主体の所在	〒329-1225 高根沢町大字石末1825番地
事業主体の概要	・団体の目的:東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の参加国等との交流を図ること。 ・設立年月日:令和4年5月24日 ・構成員等:町教育委員会、町校長会、町国際交流協会、社会福祉協議会等の関係団体で組織
当該事業に係る地域の現状と課題	【現状】 ・本町は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、レソト王国のホストタウンとして登録している。 ・事前キャンプにおいて、選手と町民、特に子どもたちとの交流を深める予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から事前キャンプの受入れを中止することとなった。そこで、レソト王国大使館とのオンライン交流会(小・中学校)、応援旗の作成(中学校)、千羽鶴の作成(小学校)を行った。 【課題】 ・選手と町民の直接的な交流が困難となったが、ホストタウン登録を「きっかけ」として、町民、特に子どもたちがレソト王国と交流することで国際理解を深めるため、交流の手法を検証する必要がある。 ・町のPRなどを通して町民の地元に対する愛着度を高め、地域の活性化へつなげる必要がある。
事業目的	上記の現状と課題を踏まえ、レソト王国との交流によって町民の国際理解を深めるとともに、町のPRを行うことで地域活性化を図る。
事業概要	【令和5年度】 ①第1回実行委員会 ・令和5年度事業予算、事業計画(案)について協議 ②町民へのレソト王国情報発信 ・町ホームページ等でレソト王国との交流情報を発信してレソト王国についての理解を深める。 ③レソト王国に関する資料の展示 ・国際交流フェスティバル等のイベントにおいて、レソト王国に関する映像資料等を展示する。 ※展示資料に係る郵送料は実行委員会が負担する。 ④第2回実行委員会 ・令和5年度事業、事業収支決算について報告 ⑤レソト王国との情報共有 ・レソト王国大使館とのオンライン交流 【令和6年度以降】 引き続きレソト王国に関する情報発信や資料展示を通じて、国際理解の推進を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】基本目標2「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。 【KPI】 20代～40代の人口 11,790人(2019年4月1日時点)より増加

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	3年度	4年度	5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①実行委員会の開催 ②レソト王国のオリンピック・パラリンピック代表選手応援・交流 ③小中学生とレソト王国大使館とのオンライン交流 ④国際理解の推進	①実行委員会の開催 ②レソト大使館への訪問 ③小・中学校へのレソト給食の提供 ④レソト王国に関する資料の展示	①実行委員会の開催 ②町民へのレソト王国情報発信 ③レソト王国に関する資料の展示 ④レソト王国とのオンライン交流		①実行委員会の開催 ②小中学生とレソト王国大使館との交流 ③町民とレソト王国大使館との交流 ④国際理解の推進
事業費	3,450,991	1,500,002	400,000	5,350,993	2,200,000
市町支出金(ソフト事業分)	3,450,991	1,500,000	400,000	5,350,991	2,200,000
うち県交付金	1,399,070	750,000	200,000	2,349,070	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	2	0	2	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	田代 真也
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	東京2020競技大会ホストタウン推進事業 (旧 東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業)	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	400,000	(うち 栃木県わがまちつながり構築事業交付金分は200,000円)
計	400,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	150,000	150,000	75,000	0	事務用品、Zoomライセンス等
通信運搬費	250,000	250,000	125,000	0	郵送料、Wi-Fi通信費、展示用物品郵送費等
				0	
				0	
計	400,000	400,000	200,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	高根沢町文化祭開催事業
事業主体の名称	高根沢町文化祭開催委員会
代表者の名称	委員長 大谷喜男
事業主体の所在	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末1825番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 昭和53年度から年度毎に設置(単年度清算) ・設立年月日: 文化祭の開催により、高根沢町における文化の発展と協働のまちづくりに寄与する。 ・構成員等: 文化協会、自主活動文化グループ、小学校等の関連団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>(特徴)本町の文化祭は文化協会会員と小中学校吹奏楽部によるステージ発表部門と文化協会会員による展示部門を開催している。</p> <p>(現状)本町では、町や各種団体による講座や体験学習などの文化活動や地域芸能に親しむことを通して、生きがいづくりや郷土愛の醸成に取り組む中で、参加者の文化活動等への意欲の高揚や、普段文化活動をしていない人には文化活動等をはじめのきっかけとなるよう、多くの人が集い交流を深められる場として文化祭を開催している。</p> <p>(課題)文化祭に参加・来場する人だけでなく、普段から各種団体等で文化活動を行う人の年齢層は比較的高めであり、文化活動等を通じた郷土愛の醸成をさらに推進するためには、より多くの人(特に若い世代)の文化活動等への興味関心を高める必要があることから、若い世代をはじめ、町民が文化祭に参加・来場しやすい環境をつくることが求められている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動を通じて他者の多様性を理解し合い、町民の豊かな心を育むとともに、郷土愛を醸成する。 ・自治会等での地域コミュニティ活動や地域の居場所づくりのルーツになる文化活動を振興する。 ・町の文化関係団体の活動を知る機会をつくり、団体加入などによる生きがいづくりに寄与する。
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>①実行委員会の開催 開催予定日: 令和5年6月29日 文化祭の開催及び展示部門・発表部門の作品展示や発表等の内容について協議する。</p> <p>②祭りの開催 生きがいづくりや文化活動への意欲高揚ひいては郷土愛の醸成を図るため、各文化関係団体が緊密に連携して、以下の内容で作品展示や活動発表の場をつくる。 (開催予定日)令和5年11月3日・4日 (開催場所)高根沢町農業環境改善センター・高根沢町町民ホール・高根沢町歴史民俗資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が参加し、交流するイベントを行う。 ・ステージ発表・作品展示等において、各種団体が連携する。 ・町内飲食店に依頼し、会場で飲食ブースを設置して、世代を問わず来場するよう働きかける。 ・ステージ発表や作品展示を行う機会をつくり、生涯学習の裾野を広げる。 <p>【関係人口分類】I-d(参加・交流型) 文化祭を通して本町の文化や魅力をPRすることにより、関係人口創出を図る。</p> <p>【令和6年度以降】 令和5年度の実績を踏まえ、実行委員会において開催方法を検討したうえで、引き続き文化祭を開催する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】基本目標2「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。</p> <p>【KPI】20代～40代の人口 11,790人(2019年4月1日時点)より増加 道の駅たかねざわ元気あつぷむらの年間施設利用者数 450,000人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①実行委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催(作品展示部門・ステージ発表部門)	①実行委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催(作品展示部門・ステージ発表部門)	①実行委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催(作品展示部門・ステージ発表部門)		①実行委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催(作品展示部門・ステージ発表部門)
事業費	700,000	700,000	700,000	2,100,000	700,000
市町支出金(ソフト事業分)	700,000	700,000	700,000	2,100,000	700,000
うち県交付金	350,000	350,000	350,000	1,050,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	田代 真也
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高根沢町文化祭開催事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	700,000	(うち 栃木県わがまちつながり構築事業交付金分は350,000円)
計	700,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品	70,000	70,000	35,000	0	印刷用紙・プログラム用紙等
印刷製本費	150,000	150,000	75,000	0	募集・開催チラシ印刷、折込
通信運搬費	10,000	10,000	5,000	0	切手代等
保険料	20,000	20,000	10,000	0	イベント保険料
委託料	270,000	270,000	135,000	0	作品展会場設営委託 ホール音響照明委託
運搬費	180,000	180,000	90,000	0	児童生徒輸送用バス 楽器輸送用トラック
				0	
				0	
計	700,000	700,000	350,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単体事業調査)
【単体事業】

市町名	高根沢町
事業名	高根沢町元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会
事業主体の名称	高根沢町元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会組織委員会
代表者の名称	会長 加藤公博
事業主体の所在	〒329-1225 栃木県塩谷郡高根沢町大字石末1825番地
事業主体の概要	・団体の目的: 元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会の開催 ・設立年月日: 平成7年9月29日 ・構成員等: 町、町議会、町教育委員会、町スポーツ協会、栃木陸上競技協会、商工会等の関係団体で組織
当該事業に係る地域の現状と課題	【現状】 本町の平坦な地の利を活かして、町を代表するイベントとしてハーフマラソン大会を開催し、スポーツを通じた健康に対する意識醸成や参加者と地域との交流を図るとともに、道の駅たかねざわ 元気あつぷむらをはじめとした町の魅力をPRするために取り組んでいる。 【課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度から令和4年度まで開催を見合わせたため、今年度は出場枠に一定の制限をかけた上で再開し、安心・安全な開催を目指す。
事業目的	・マラソン等への参加や参観を通して、スポーツに対する興味関心を高めて、健康や体力の保持・増進を促す。 ・地域の関係団体が連携して大会を開催することによって、地域の一体感を醸成する。 ・県内外からの参加者との交流を深め、「道の駅たかねざわ 元気あつぷむら」への回遊などを含めて、地域活性化を図る。
事業概要	【令和5年度】 ①・実行委員会の開催 開催日: 令和5年6月20日・12月(開催日未定) 大会運営(日程・競技注意事項・会場・競技役員業務・タイムスケジュール等)について協議する。 ②大会の開催(以下の内容で令和6年1月14日に大会を開催予定) ・競技種目は、ハーフマラソン、10km、5km、2km ・参加対象者は、一般人(大学生含む)、高校生、中学生、小学生(1~3年生は親子マラソン) ・コロナ禍を経て大会を再開するにあたり、安心・安全な大会運営のため、出場枠に一定の制限をかけた上で開催する。 ・専用ホームページを開設して県内外からの参加者を募集するとともに、関東学生陸上競技連盟所属大学等に開催案内や参加啓発を行う。 ・チラシ5,000部、ポスター150部、ラジオCMで大会のPRを図る。 ・運営面において、大会開催に向けて準備段階から地域の関係団体等が連携を深めたり、大会当日には中学生や高校生、民間企業等がボランティアとして多数参加したり、町の一大スポーツイベントに多くの人が関わる機会を作ることで、地域の一体感を醸成や町への愛着度の向上が期待される。 【関係人口分類】I-d(参加・交流型) ・町外からの参加者には高根沢町の魅力を感じ、「高根沢町に来てよかった」「マラソン大会以外の時期にも来てみたい」と思っていたら、地域活性化の効果を広げていけるよう、町のPRブースを設け、町の特産物や道の駅たかねざわ 元気あつぷむらなどの情報発信を行い、関係人口創出を図る。 ・地域の方を中心とした飲食ブース(高根沢焼きちゃんぽん等)や物産ブース(イチゴや米等)の開設については検討中。 【令和6年度以降】 令和5年度の大会開催の実績と反省点を参考に今後の感染症対策の動きを注視しながら、組織委員会において開催方法の検討を行った上で、大会を開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】基本目標2「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け、働けるまち」を目指します。 【KPI】20代~40代の人口 11,790人(2019年4月1日時点)より増加 道の駅たかねざわ元気あつぷむらの年間施設利用者数 450,000人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催	①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催	①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催		①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催
事業費	14,800,000	14,500,000	14,500,000	43,800,000	14,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,500,000	4,500,000	4,500,000	13,500,000	4,500,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	10,300,000	10,000,000	10,000,000	30,300,000	10,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課 企画調整係
担当者名	田代 真也
電話	028-675-8102
FAX	028-675-2409
E-mail	keiei@town.takanezawa.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高根沢町元気あっぷ^oハーフマラソン大会兼長距離走大会	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	4,500,000	(うち 栃木県わがまちつながり構築事業交付金分は1,000,000円)
参加料	9,475,000	ハーフマラソン7,000円×1,000人、一般3,000円×450人、高校生1,500円×50人、小中学生1,000円×450人、親子ペア2,500円×150組
繰越金	166,314	前回繰越金
協賛金等	658,686	協賛金、出店料等
計	14,800,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	2,073,000			2,073,000	参加賞、入賞者賞品等、スポーツドクター報償等
旅費	270,000			270,000	陸上競技協会関係者旅費、招待選手旅費等
消耗品費	318,000			318,000	大会用具等
印刷製本費	535,000			535,000	プログラム・ポスター印刷代等
通信運搬費	90,000			90,000	切手、送料
手数料	70,000			70,000	仮設トイレ汲取料、振込手数料
委託料	11,234,000	4,500,000	1,000,000	6,734,000	大会計測委託、警備委託、会場設営委託等
使用料及び賃借料	60,000			60,000	コピー機・先導車両賃借
食糧費	100,000			100,000	役員昼食代等
予備費	50,000			50,000	栃木陸上競技協会協力金等
計	14,800,000	4,500,000	1,000,000	10,300,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合